

耐薬品性一覧表

その他

67

その他

68

薬品名 (濃度重量%・温度°C)	材料名				無機アルカリ	薬品名 (濃度重量%・温度°C)	材料名				有機溶剤	薬品名 (濃度重量%・温度°C)	材料名								
	ポリスチレン (PS)	ポリエチレン (PE)	ポリプロピレン (PP)	ポリカーボネート (PC)			ポリスチレン (PS)	ポリエチレン (PE)	ポリプロピレン (PP)	ポリカーボネート (PC)			ポリスチレン (PS)	ポリエチレン (PE)	ポリプロピレン (PP)	ポリカーボネート (PC)					
亜硫酸 (10・RT)	◎	◎	◎	◎	有機溶剤	水酸化カリウム	—	◎	◎	×	有機溶剤	酢酸 (10・RT)	—	◎	◎	◎	トルエン (トルオール)	—	△	△	×
塩酸 (10・RT)	—	◎	◎	◎		水酸化カルシウム	◎	◎	◎	◎		酢酸 (50・RT)	—	○	○	◎	ナフタリン	—	◎	◎	—
塩酸 (20・RT)	—	◎	◎	○		水酸化バリウム	◎	◎	◎	◎		酢酸 (50・70)	△	△	△	△	ナフテン酸	—	◎	◎	—
塩酸 (20・80)	×	△	○	△		水酸化マグネシウム	◎	◎	◎	◎		酢酸 (100・RT)	—	△	△	×	二塩化エチレン	×	○	○	×
塩酸 (33・RT)	—	◎	◎	△		ヒドラジン	—	—	—	—		酢酸アミル	×	△	△	×	二塩化メチレン	×	×	△	×
王水	×	×	△	×		アクリル酸エチル	—	—	—	△		酢酸イソプロピル	×	△	△	×	ニトロエタン	×	×	×	—
過塩素酸	—	○	△	○		アクリル酸ブチル	×	△	△	△		酢酸エチル	—	△	△	×	ニトロプロパン	×	×	×	—
クロム酸 (2・70)	×	○	○	○		アクリロニトリル	—	○	—	—		酢酸セロソルブ	—	—	—	△	ニトロベンゼン	×	×	△	×
クロム酸 (5・70)	×	○	○	○		アセチレン	◎	◎	◎	◎		酢酸ブチル	×	△	△	×	ニトロメタン	×	×	×	—
クロム酸 (10・70)	×	△	△	△		アセトアミド	—	○	○	—		酢酸プロピル	×	×	△	△	乳酸	○	◎	◎	○
クロム酸 (25・70)	×	×	×	×		アセトアルデヒド	△	○	○	—		酢酸メチル	×	×	△	×	パークロロエチレン	×	×	△	×
クロロスルホン酸	×	×	×	×		アセト酢酸エチル	—	—	—	×		サリチル酸	—	◎	◎	—	ハイドロキノン	○	◎	◎	◎
酸洗液 (硝酸20%+ふっ酸4%)	—	◎	◎	△		アセトフェノン	—	—	—	—		酸化ジフェニル	—	—	—	—	パルミチン酸	—	◎	◎	○
酸洗液 (硝酸40%+ふっ酸15%)	—	◎	◎	△		アセトン	×	△	△	×		ジイソプロピルケトン	×	×	△	×	ピネン	—	△	—	○
次亜塩素酸	—	◎	◎	—		アリニン	△	△	△	—		ジエチルエーテル	—	×	△	△	ピクリン酸	—	○	○	◎
シアン化水素酸	—	◎	◎	◎		アミルアルコール	—	○	○	△		ジエチレングリコール	—	◎	◎	○	ピペリジン	—	—	—	—
臭化水素酸 (20・RT)	—	◎	◎	○		アミルナフタリン	—	○	○	—		四エチル鉛	○	○	○	○	フェニルヒドラジン	—	—	—	—
臭化水素酸 (20・70)	×	○	◎	△		安息香酸ベンジル	—	—	—	—		ジエチルセバケート (DES)	—	△	△	—	フェノール	—	○	—	×
臭化水素酸 (37・RT)	—	◎	◎	○		イソオクタン	—	△	—	—		四塩化炭素	×	×	△	△	ブチルアルコール (ブタノール)	—	○	—	○
硝酸 (10・RT)	○	◎	◎	◎		イソブチルアルコール	—	◎	◎	○		ジオキサン	—	—	—	—	ブチルセロソルブ	—	—	—	△
硝酸 (10・70)	×	○	○	○		イソプロピルアルコール	—	◎	◎	○		ジオクチルセバケート (DOS)	—	△	○	—	フラン、フルフラン	—	—	—	—
硝酸 (30・RT)	×	○	○	△		イソプロピルエーテル	—	○	○	△		ジオクチルフタレート (DOP)	—	○	○	—	フルフラール	—	×	×	—
硝酸 (30・70)	×	△	△	×		エタノールアミン	—	○	○	△		シクロヘキサノール	—	○	○	○	プロピルアルコール	—	○	○	○
硝酸 (61.3・RT)	×	△	△	×		エチルアルコール (エタノール)	—	○	○	○		シクロヘキサノン (アノン)	×	△	△	×	フロロベンゼン	×	×	△	×
硝酸 (発煙・RT)	×	×	×	×		エチルセルコース	—	◎	◎	—		シクロヘキササン	×	×	△	◎	フレオン11	—	—	—	—
炭酸	—	○△	○	◎	エチルベンゼン	—	×	△	△	ジクロロベンゼン	×	×	△	×	フレオン12	—	—	—	—		
砒酸	—	◎	◎	○	エチレンオキサイド	—	—	—	×	ジフェニル	—	—	—	—	フレオン21	—	—	—	—		
フッ化けい酸	—	○	◎	◎	エチレンジアミン	—	○	○	△	ジブチルエーテル	—	×	△	△	フレオン22	—	—	—	—		
フッ化水素酸 (10・RT)	—	◎	◎	◎	エチレンクロロヒドリン	—	△	△	×	ジブチルフタレート (DBP)	—	○	○	—	フレオン113	—	—	—	—		
フッ化水素酸 (フッ酸) (20・RT)	—	◎	◎	◎	エチレングリコール	—	◎	◎	○	ジベンジルエーテル	—	△	△	△	フレオン114	—	—	—	—		
フッ化水素酸 (フッ酸) (40・RT)	—	◎	◎	◎	エピクロロヒドリン	—	—	—	△×	ジメチルホルムアミド (DMF)	×	△	△	×	ヘキサアルデヒド	—	×	—	—		
フッ化ほう素酸	◎	◎	◎	◎	塩化エチル	×	×	△	×	ジメチルアニリン	—	—	—	—	ヘキササン	—	×	△	△		
ほう酸	◎	◎	◎	◎	塩化ベンジル	—	—	—	—	しゅう酸	◎	◎	◎	○	ヘキシルアルコール	—	○	○	○		
無水フッ酸	×	○	◎	×	塩化メチル	×	×	△	×	しゅう酸エチル	—	△	—	—	ベンジルアルコール	—	○	—	—		
硫酸 (10・RT)	◎	◎	◎	◎	塩素化溶剤	×	×	×	×	酒石酸	◎	◎△	◎	—	ベンズアルデヒド	—	△	△	—		
硫酸 (10・70)	○	○	◎	◎	オクチルアルコール	—	○	◎	◎	ステアリン酸	—	◎	◎	○	ベンゼン (ベンゾール)	×	△	△	×		
硫酸 (30・RT)	◎	◎	◎	◎	オレイン酸	—	△	○	○×	ステアリン酸ブチル	—	—	—	—	ほう酸アミル	—	○	○	—		
硫酸 (30・70)	△	○	◎	○	ぎ酸 (25・RT)	—	◎	◎	○	スチレン	—	△	○	—	ホルムアルデヒド (ホルマリン) (40・RT)	—	○	◎	◎		
硫酸 (98・RT)	×	△	△	×	ぎ酸 (50・RT)	—	◎	◎	○	石炭酸 (フェノール)	—	○	—	×	マレイン酸	—	◎	◎	◎		
硫酸 (発煙・RT)	×	×	△	×	ぎ酸 (90・RT)	—	◎	◎	○	セロソルブ	—	△	△	△	無水酢酸	—	○	○	—		
りん酸 (50・RT)	○	◎	◎	◎	キシレン (キシロール)	×	○	×	×	タンニン酸	—	◎	◎	—	メタクリル酸メチル	×	△	△	×		
りん酸 (50・70)	—	◎	◎	○△	クエン酸	◎	◎	◎	○	チオールアルコール (メルカプタン)	—	×	—	—	メチルアルコール	—	○	○	×		
りん酸 (75・RT)	—	◎	◎	◎	グリコールエーテル類 (カルピトール)	—	○	—	—	テトラヒドロフラン (THF)	×	×	△	×	メチルイソブチルケトン	×	△	△	△		
アンモニア (無水)	—	◎	◎	—	グリセリン	—	◎	◎	◎	テトラクロロエタン	×	×	△	×	メチルエチルケトン	×	△	△	×		
アンモニアガス (冷)	—	◎	—	—	クレゾール	—	○	○	×	テトラリン (テトラヒドロナフタリン)	—	×	△	—	メルカプタン (チオールアルコール)	—	×	—	—		
アンモニアガス (熱)	—	—	—	—	クロロアセトン	×	×	△	×	トリアセチン	—	—	—	—	モノエタノールアミン	—	○△	◎	△		
アンモニア水 (28%)	—	◎	◎	—	クロロトルエン	×	×	△	×	トリエタノールアミン	—	○△	○	×	モノクロル酢酸	—	×	○△	—		
液体アンモニア	—	◎	○	—	クロロナフタリン	—	—	—	×	トリクレジルホスフェート	—	—	—	—	モノクロロベンゼン	×	×	△	×		
力性ソーダ (10・RT)	◎	◎	◎	△	クロロホルム	×	×	×	×	トリクロロエチレン (トリクレン)	×	△	△	×	リノレン酸	—	○	◎	◎		
力性ソーダ (30・RT)	—	◎	◎	△	けい酸エチル	—	—	—	—	トリブチルホスフェート	—	—	—	—	りんご酸	—	◎	◎	◎		
力性ソーダ (30・70)	—	○	◎	×																	

◎: 全くあるいはほとんど影響がない。
 ○: 若干の影響はあるが、条件により十分に使用に耐える。
 △: なるべく使用しない方がよい。
 ×: 大きく影響があるため、使用に
 適さない。
 —: データがない。
 ※耐薬品性の表示はあくまでも目安です。※製品形状により耐薬品性が異なります。
 ※実際のご使用は、試験片などによる実用試験でご確認の上で使用ください。
 ※RT: 室温 ※特にことわりのない限り、水溶液の濃度は飽和状態です。

名称	ポリプロピレン	ポリエチレン	ポリスチレン	ポリカーボネート
°C	-20~120	-20~80	-20~80	-20~135